

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年10月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年10月1日～10月31日）

○調査期間：令和3年10月29日～令和3年11月18日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業22企業、製造業20企業、卸売業13企業、小売業24企業

飲食業17企業、サービス業44企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計140企業>

○調査項目：10月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲20.2）よりマイナス幅が8.8ポイント縮小し、▲11.4となった。業種別では、卸売業がマイナスからプラスに転じた。製造業はプラスから0になり、小売業はマイナスから0になった。飲食業はマイナス幅が縮小し、サービス業、建設業はマイナス幅が拡大した。

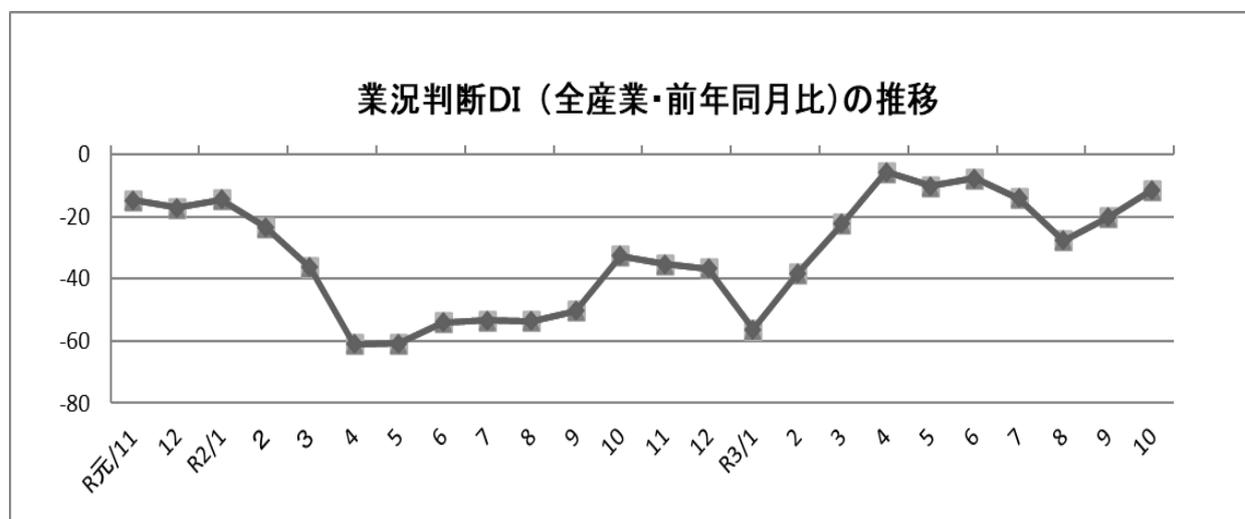
○全産業合計の水準DIは、前月（▲36.6）よりマイナス幅が18.8ポイント縮小し、▲17.8となった。業種別では、卸売業ではマイナスから0になり、建設業は0からマイナスになった。飲食業、小売業、製造業、サービス業ではマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	17.9 (14.9)	52.8 (50.0)	29.3 (35.1)	▲ 11.4 (▲ 20.2) ↗	18.6 (8.2)	45.0 (47.0)	36.4 (44.8)	▲ 17.8 (▲ 36.6) ↗
建設業	4.5 (16.7)	72.8 (72.2)	22.7 (11.1)	▲ 18.2 (5.6) ↘	4.5 (11.1)	77.3 (77.8)	18.2 (11.1)	▲ 13.7 (0.0) ↘
製造業	30.0 (27.3)	40.0 (50.0)	30.0 (22.7)	0.0 (4.6) ↘	20.0 (13.6)	40.0 (45.5)	40.0 (40.9)	▲ 20.0 (▲ 27.3) ↗
卸売業	30.8 (33.3)	46.1 (25.0)	23.1 (41.7)	7.7 (▲ 8.4) ↗	30.8 (25.0)	38.4 (33.3)	30.8 (41.7)	0.0 (▲ 16.7) ↗
小売業	29.2 (4.2)	41.6 (50.0)	29.2 (45.8)	0.0 (▲ 41.6) ↗	33.3 (8.3)	29.2 (29.2)	37.5 (62.5)	▲ 4.2 (▲ 54.2) ↗
飲食業	11.8 (0.0)	52.9 (44.4)	35.3 (55.6)	▲ 23.5 (▲ 55.6) ↗	17.6 (0.0)	41.2 (22.2)	41.2 (77.8)	▲ 23.6 (▲ 77.8) ↗
サービス業	11.4 (15.0)	56.8 (50.0)	31.8 (35.0)	▲ 20.4 (▲ 20.0) ↘	13.6 (2.5)	43.2 (60.0)	43.2 (37.5)	▲ 29.6 (▲ 35.0) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



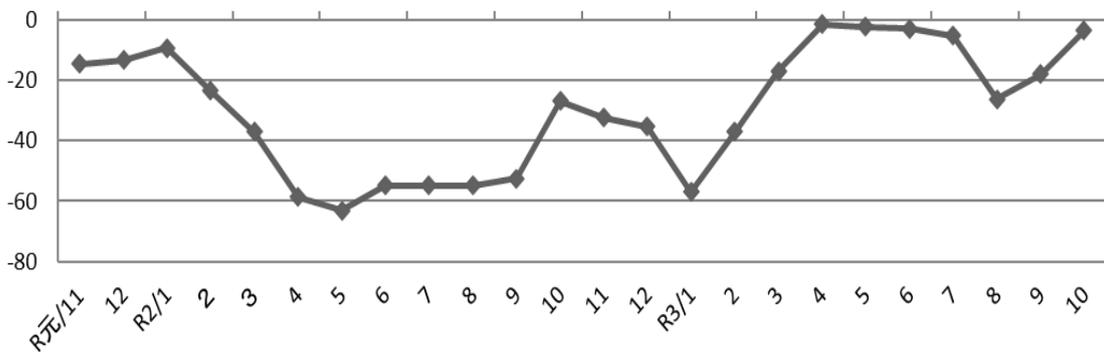
2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲17.9）よりマイナス幅が14.4ポイント縮小して、▲3.5となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が拡大した。卸売業は0からプラスになった。小売業はマイナスからプラスに転じ、建設業はプラスからマイナスに転じた。飲食業はマイナス幅が縮小し、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	▲26.8	▲32.4	▲35.4	▲57.0	▲37.0	▲16.8	▲1.4	▲2.2	▲2.9	▲5.1	▲26.1	▲17.9	▲3.5
建設業	▲15.8	▲22.8	▲13.6	▲47.4	▲20.0	▲30.0	▲30.0	▲33.4	▲18.2	▲26.3	▲25.0	22.2	▲4.5
製造業	▲47.6	▲38.1	▲43.5	▲68.4	▲36.3	▲27.3	▲8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0
卸売業	▲25.0	▲61.5	▲38.5	▲58.3	▲41.7	23.1	33.4	10.0	7.7	▲10.0	▲25.0	0.0	7.7
小売業	▲13.1	▲17.4	▲7.4	▲38.5	▲8.4	▲11.1	3.6	▲8.3	▲16.7	▲13.6	▲48.2	▲45.9	20.9
飲食業	▲58.8	▲68.7	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲57.9	▲18.7	▲31.3	▲10.0	▲25.0	▲82.4	▲61.1	▲17.6
サービス業	▲17.4	▲20.5	▲39.6	▲51.3	▲43.2	▲2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲15.0	▲17.5	▲20.5

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



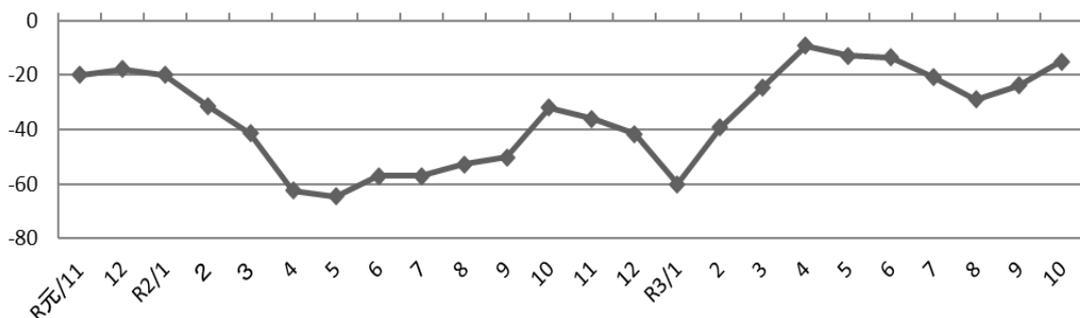
3. 営業利益D I（前年同月比）

○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲23.9）よりマイナス幅が8.9ポイント縮小して、▲15.0となった。業種別に見ると、卸売業は0からプラスになった。小売業はマイナスからプラスに転じ、建設業はプラスからマイナスに転じた。飲食業はマイナス幅が縮小し、サービス業、製造業ではマイナス幅が拡大した。

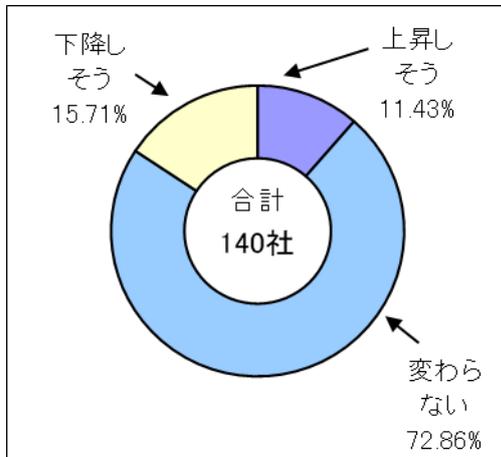
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全 体	▲31.9	▲36.0	▲41.7	▲60.0	▲39.2	▲24.5	▲9.3	▲13.0	▲13.5	▲20.8	▲29.0	▲23.9	▲15.0
建設業	▲31.6	▲36.4	▲31.8	▲47.4	▲30.0	▲35.0	▲40.0	▲33.3	▲18.2	▲36.8	▲30.0	5.6	▲22.7
製造業	▲52.4	▲57.1	▲56.5	▲73.6	▲31.8	▲31.9	▲17.4	4.2	▲5.0	5.0	4.5	▲4.5	▲20.0
卸売業	▲25.0	▲46.1	▲23.1	▲58.3	▲33.4	7.7	16.7	0.0	▲7.7	▲20.0	▲16.7	0.0	7.7
小売業	▲8.7	▲17.4	▲18.5	▲46.2	▲25.0	▲22.2	0.0	▲12.5	▲25.0	▲27.3	▲37.0	▲50.0	4.2
飲食業	▲70.6	▲81.3	▲87.5	▲94.4	▲81.2	▲52.6	▲25.0	▲43.7	▲15.0	▲35.0	▲82.4	▲66.7	▲29.4
サービス業	▲21.8	▲15.9	▲41.8	▲53.7	▲40.9	▲14.3	2.4	▲4.5	▲9.5	▲15.9	▲22.5	▲20.0	▲20.4

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

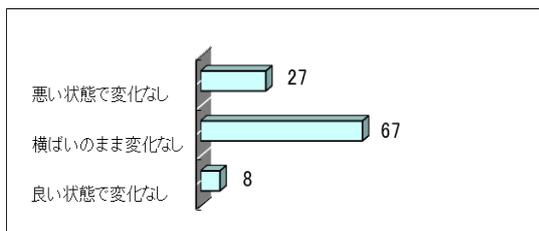


○令和3年11月～令和4年1月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.26ポイント減少し11.43%、「下降しそう」が7.5ポイント上昇し15.71%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.5)、製造業(▲20.0)、卸売業(7.7)、小売業(12.5)、飲食業(5.9)、サービス業(▲13.7)であった。

➡「上昇しそう」では「これまでが低調なので期待しているため」「8月の災害復旧工事が発注されるため」(建設業)「トヨタ自動車が回復傾向にあるため」「受注があるため」(製造業)「人が動くようになり、購買意欲も戻りつつあるため」(卸売業)「少しずつ良くなってきている感じがしており、このまま良くなってほしいと考えているため」「クリスマスなど繁忙期が近づいているため」「お客様の外出が多く見られるため」(小売業)「ワクチン接種も進み、少しずつではあるが旅行に出かける人が増えたため」「自公政権の勝利により公約である経済対策に期待しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあるため」といった声が多数寄せられた。

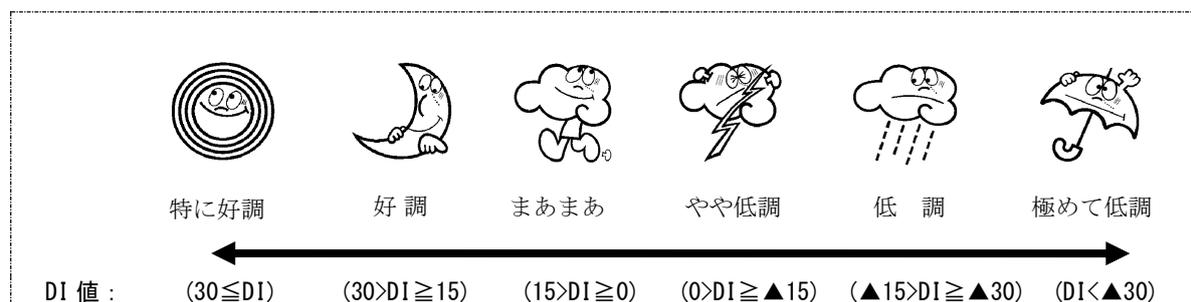
➡「変わらない」では「コロナ禍にまだまだ警戒感が強く、受注量が増えるとは思えないため」(小売業)「月締請求の案件があるが、一括請負式の回収はまだ先のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「鋼材等の高騰により加工費他が圧迫しそうなため」(建設業)「航空機部門に新型コロナウイルス感染症の影響があるため」「今月が良過ぎたため」「部品の不足感が増しているため」「半導体とリン青銅が入ってこないため」「原材料高騰が損益に影響するため」(製造業)「年末年始の出費が多くなり、嗜好品の売上減の可能性があるのであるため」(小売業)「11月より冬季休業のため」「昨年はGo To トラベルキャンペーン事業があり、11月も賑わったのだが、今年はないため」「求人が増加傾向にあり就職が比較的容易になり職業訓練希望者が減少しているため」「冬の閑散期になるため」(サービス業)といった声が寄せられた。また「ガソリンや原油の価格が高騰しているため」といった声が多数寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2	▲ 26.3	▲ 25.0	22.2	▲ 4.5
受注量	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 28.5	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 20.0	0.0	0.0
受注単価	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 15.8	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 9.1
営業利益	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 30.0	5.6	▲ 22.7
見通し	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6	10.5	0.0	▲ 20.0	▲ 5.0	14.2	4.5	0.0	5.0	11.1	▲ 4.5

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

・材料の手配難、値上がりが次第に厳しく迫ってきている感じである。今後、来年にかけて多くの工事案件が動き出してきそうであり、上手く調整しながら業績のアップに繋げていきたい。新型コロナウイルス感染症は拡大と収束を繰り返していくのではないかと考えている。インフルエンザにも注意しながら対応していくよりほかにないと思う。

電気工事

・先月同様、鋼材等の状況はこの先不透明であるため、需要は比較的活発であるが、受注については慎重に対応しなければならない。

土木工事

・今後の鋼材の品薄と値上がり等が懸念される。
・官公庁の工事発注が少ない。原材料の値が上がってきていることに対し今後注視していかなければならない。

総合建設

・銀行法改正により、銀行が取得できる非上場企業の株式が5%から100%に急増した。そしてゴールドマン・サックスが日本で銀行免許を取得した。コロナ禍の不況にあえぐ日本の中小企業を地銀が買収しそれをメガバンクが回収するという流れになってしまうのではないかと危惧している。なぜこのような法律が成立してしまうのだろうか。
・各社ある程度の仕事量は確保している。今後発注される災害復旧工事の不調不落が懸念される。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0	35.0	22.7	4.6	10.0
受注量	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7	▲ 8.7	8.3	25.0	25.0	9.1	4.6	10.0
受注単価	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0	0.0	5.0	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	5.0
営業利益	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0	5.0	4.5	▲ 4.5	▲ 20.0
見通し	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 20.0

<経営者の目・見方・e t c>

精密機械

精密機器組立

小型情報機器組立

金属塗装

紙器

清酒製造業

- ・電子部品を中心とした部材不足に解消の目途が全く立たない。今後更に拡大するという話も聞こえており注意が必要である。
- ・電子部品の供給不足、価格高騰が続いて厳しい状況が続く。海外の新型コロナウイルス感染症が収束しないと改善しないと思う。
- ・ともかく部品（半導体やチップ）が入らず、銅等の材料も入ってこないなのでこの先がますます不安である。
- ・受注、売上は回復してきたが、円安の影響も含め、原材料、燃料の高騰が損益を圧迫してきている。
- ・最近は街中に県外からの人も入ってきて賑わってきているように見える。サービス業、旅館、宿泊施設や飲食も少しずつ良くなっているように感じる。しかし、製造業はなかなか簡単には売上也伸びない状況が感じられる。
- ・「地酒おトクーポン」の発行により、お酒の動きが全体的に良かったように感じる。

3. 卸売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	好調	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0	7.7	▲ 10.0	▲ 25.0	0.0	7.7
販売客数	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 16.6	▲ 25.0	7.7
販売客単価	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4	8.4	30.0	15.4	10.0	▲ 8.3	0.0	23.1
営業利益	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	7.7
見通し	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7	▲ 16.7	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 16.7	16.7	7.7

<経営者の目・見方・e t c>

青果

・長野県産品、特に地元産地からのぶどう類の業績が伸びた。果実の平均単価も入荷数も前年を上回った。野菜は単価安の入荷減で苦しい販売状況である。県外産地品が増えてきた。

青果卸小売業

・野菜の値段の変動が激しい。(玉ねぎ等北海道産が干ばつ)りんごの出来が良くなく高値の模様。

土産品

・新型コロナウイルス感染者数が大幅な減少となり人の流れが活発になると同時に観光客も増えて土産品が売れるようになった。今後更なる消費拡大に期待したい。

機械工具

・仕入先のメーカーが品不足なため、代替品を探したりコスト高により余計な経費が掛かっている。ガソリン価格の高騰の影響で配達コストが上がっている。

金属製品

・部品供給問題が収束する事を期待していたが、逆に分野が広がり、深刻度が増した。令和4年2月から3月まで影響が続く話も聞かれる。

自転車

・一時期のタイト感はないが、まだメーカー強気の傾向は変わらない。高炉メーカーは板中心に強気で、電炉メーカーはそれに追従している。各二次製品(パイプ等の成形品)に波及しており、流通においては、今後も価格転嫁は続く。

・商品の値上げ、商品の遅延はなお続いている。燃料費の高騰で運賃の値上げが予想される。

4. 小売業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
好調	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲13.1	▲17.4	▲7.4	▲38.5	▲8.4	▲11.1	3.6	▲8.3	▲16.7	▲13.6	▲48.2	▲45.9	20.9
販売客数	▲26.1	▲26.1	▲29.7	▲53.9	▲20.8	▲18.5	▲10.8	▲4.1	▲20.8	▲13.7	▲44.5	▲50.0	8.3
販売客単価	▲4.3	▲21.7	▲3.7	▲7.7	▲8.3	▲14.8	▲10.7	▲8.4	▲29.2	▲13.7	▲29.6	▲20.9	4.2
営業利益	▲8.7	▲17.4	▲18.5	▲46.2	▲25.0	▲22.2	0.0	▲12.5	▲25.0	▲27.3	▲37.0	▲50.0	4.2
見通し	▲8.7	▲8.7	▲18.5	▲3.8	0.0	7.4	▲14.3	▲20.8	▲8.3	▲13.7	▲14.8	0.0	12.5

<経営者の目・見方・etc>

陶磁器

- 夏にあれだけ感染が拡大していたので大抵のイベントは中止となったが、開催に漕ぎつけた「フェスタ松本」も「レ・ミゼラブル」も大盛況だった。県外からの観光客も多く、街の人出もだいぶ回復した。想定を超えて感染者数が減少し続け、夜の会食のお誘いにも遠慮は不要となり、外食も正常化し、2年ぶりに東京への出張を再開した。これほど収束するならイベントの計画をしておけばとの後悔もあるが、冬場の再拡大への不安もある。「あめ市もできたね」と言える冬になると良いと思う。

印章

- 10月に入ってから観光客、修学旅行が一気に増えたおかげで街の中が賑やかだった。印鑑、ゴム印類の注文が例年に比べかなり減ってしまった。

印章・刃物研ぎ

- 人の動きは多少なりとも多くなってきた。このまま持続して欲しい。

ガラスサッシ

- 資材の値上げがメーカー、問屋からあり、見積するのに慎重にならざるを得ない。しかし、受注もしたいので仕方なく値上分そっくりは乗せられないでいる。

住宅機器

- 対面でやる会議が急に始まり、対応に追われている。

洋菓子店

- 働き方が色々見直されている時代になっている。菓子屋は12月から3月が大変忙しいので、労働時間を含めて対策を取らなければならない。

和菓子

- 平日も人通りが多く、客単価が上がった。

おやき

- ホテル、旅館の注文はほとんどない。ほかの納入先は店により差が大きい。

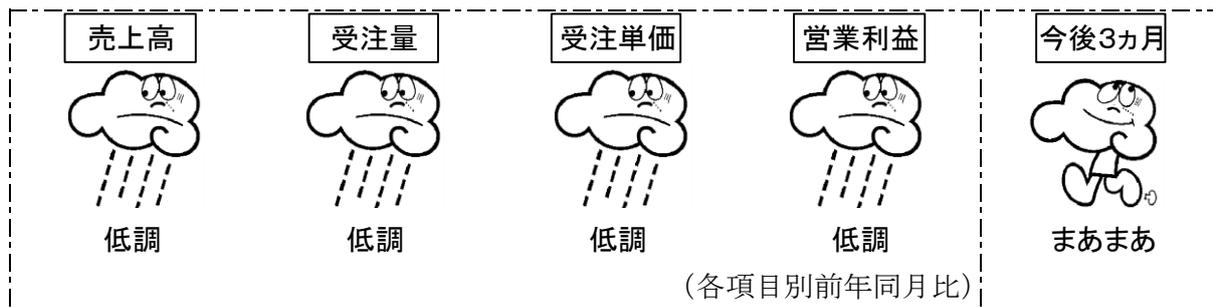
生鮮食品

- 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が全面解除となり10月になってから県外からのお客様が増えて、車の渋滞がひどい。観光バスが20台近く駐車しているのはホッとした。仕入値が昨年比べて値上がりしてきている。

小売店

- 外出等明るい話題が多くなっている。イベント情報等をできるだけお客様に伝えていく。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 82.4	▲ 61.1	▲ 17.6
販売客数	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 18.7	▲ 37.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 76.5	▲ 66.7	▲ 23.5
販売客単価	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 81.2	▲ 31.6	▲ 37.5	▲ 56.2	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 52.9	▲ 44.4	▲ 29.4
営業利益	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 82.4	▲ 66.7	▲ 29.4
見通し	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 15.8	▲ 6.3	0.0	5.0	▲ 15.0	▲ 29.4	0.0	5.9

<経営者の目・見方・etc>

料理

- ・季節の料理を食べにくるお客様は来店したが、県外のお客様は足が遠かった。
- ・都内で新型コロナウイルス感染症が落ち着き、土日は以前のような活気が見られた。夜に関しては家にいる習慣がついてしまったようで、出足は悪い。ワクチン接種率が70%程になり集団免疫が出来ているのにワクチンパスポートはどうかと思う。

郷土料理

- ・平日はあまりお客様が来ないが、土日は増えてきている。全体的に中高年層の来店が多いのだが、一組の人数が5~6人のグループも増えてきた。11月以降の宴会の予約も入り始めており、ワクチンの接種が終わった方々が出てきているようである。

中華料理

- ・駅前のみ人出が悪い。新型コロナウイルス感染症の収束はないと思う。治療薬が明確になれば変化は見られると思うし、携わって下さる全ての人に感謝している。

そば

- ・ワクチン接種も進み、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の全面解除になった10月より観光客が日に日に増え始めきている。しかし、宴会の予約はなく、また、ガソリン等の高騰などしばらく厳しい状態が続きそうである。

寿司

- ・10月は松本駅前も来客の数があまり多くなかったように思う。当店も同じく客足は伸びて来なかった。まだ新型コロナウイルス感染が気になって外出を控えているように思う。11月からは多少客数が増えてきそう。
- ・緊急事態宣言の解除もあり、特に観光客の方が大幅に増えたと感じる。しかし、コロナ禍前と比べるとまだまだ少なく、完全な回復までには時間がかかると感じる。また、宴会などは引き続き少ないのが現状で、こちらはマスクなしの生活が戻らない限り難しいものと考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症もだいぶ収まってきた。県内、特に松本市では感染者なしという日もだいぶ増えている。ただ、いつどこから入ってくるかわからない感染症であるので油断せずに安心安全に細心の注意を払いお客様を迎えたい。

食堂

- ・全国で時短要請が解除され人出が多くなればと期待していたが、観光地では混み合ったようだが街から離れた所ではまだまだ静かだ。週末の予約に期待したい。
- ・感染者数も減少して、規制も緩和され客足も戻りつつある。令和3年度信州プレミアム食事券キャンペーン事業が始まり、利用されるお客様が出てきた。大いに期待するところだ。
- ・10月1日の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除されて徐々にお客さんが戻ってきている。しかし未だに夜のお客さんは少ない。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲17.4	▲20.5	▲39.6	▲51.3	▲43.2	▲2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲15.0	▲17.5	▲20.5
販売客数	▲19.6	▲18.1	▲34.9	▲56.1	▲43.2	▲11.9	9.8	2.3	0.0	▲6.8	▲22.5	▲17.5	▲27.3
販売客単価	▲8.7	▲6.8	▲14.0	▲24.4	▲27.2	▲2.4	7.3	▲9.1	▲4.8	▲9.1	▲7.5	▲10.0	▲22.8
営業利益	▲21.8	▲15.9	▲41.8	▲53.7	▲40.9	▲14.3	2.4	▲4.5	▲9.5	▲15.9	▲22.5	▲20.0	▲20.4
見通し	▲6.5	▲16.0	▲23.3	▲12.2	4.5	▲2.3	▲17.1	▲2.3	14.2	▲18.2	▲7.5	10.0	▲13.7

<経営者の目・見方・etc>

旅館

- ・ワクチン接種率は70%を超え、緊急事態宣言も解除され、徐々にではあるが旅行需要も高まってきている。しかし、Go Toトラベルキャンペーン事業があった昨年と比べると勢いは弱い。

温泉旅館

- ・Go Toトラベルキャンペーン事業の影響で忙しかった昨年よりも今年の10月は忙しかった。背景には、ワクチン接種者が多くなり、感染者数も減り、巣籠りから一気に旅行需要が加速したと思われる。客単価も高く非常に勢いのある月だった。懸念される点は、人件費の高騰と燃料費の価格の上昇、材料費の上昇が少しずつ出てきた事で心配の種は尽きないのが現状である。
- ・新型コロナウイルス感染症も落ち着きが見られるがまだまだである。まずは耐えることだろうか。

観光旅館

- ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、紅葉や天候にも恵まれてコロナ禍以前ほどではないがある程度の入込となった。昨年はGo Toトラベルキャンペーン事業の効果で賑わったが、今年はキャンペーンがなくても観光バスが訪れるようになったので観光客の消費も多かった。11月中旬から4月中旬まで冬期休業になるのでGo Toトラベルキャンペーン事業が始まっても参加できないが、せめて来春までに新型コロナウイルス感染症の新たな波が来ないことを祈るしかない。

宿泊

- ・緊急事態宣言解除により、一気にお客様がお越しになられた。10月単月で言うと、過去最高売上となった。特にキャンプ事業については300%程度となった。
- ・新型コロナウイルス感染症とともにお客様の観光に対するニーズが大きく変わってきている。そのニーズに対応しなければならぬが資金がかかるものに関しては簡単にはシフトできない。地域で不安を抱えている施設が少なくないのが現状である。

ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊はだいぶ回復の兆しが見えてきているが、宴会や会合は低迷したままである。特に大型の予約は全くないのが現状である。 ・そば祭り、松本マラソン等々のイベントがなくなって厳しい状況が続いている。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・リネンサプライ業界として、昨年のGo Toトラベル キャンペーン事業のキャンセル料について、国が利用者に代わって補填された旅行代金の35～50%について、リネン業者や食材の卸業者にも公平に配分するよう求めていたが、実際に配分されたのは少数の業者であった実態が明らかになりつつあるようだ。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影が増し人の出入りも増え、行事、証明、七五三全て動き出し、にわかに忙しくなった。しかし経営業績の内容は良いとは言えない。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により東南アジアでロックダウンをしている国があったので、物ができなく、まだ間に合わない状態が続いている。来年も続きそうだ。代替部品を探すのも大変で、6～9ヶ月も待つことになる部品もある。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が急に下がり、熱を出す社員が何名か出た。PCR検査を受けて結果が出るまで日数がかかったため仕事に支障が出た。中でも37度台の熱が出て1日で下がった社員は公費のPCR検査が受けられず、松本市内では自費でも熱が出た人は受けられず、事情を話し遠くの他市の病院で受けたため10日程休むことになった。健康管理をしっかりしなければと思った出来事だった。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小企業からも、ちょうど10年程前に作成された期間業務の再構築の依頼が見られるようになった。当時リーダーとして構築にあたったエンジニアが引退する世代となったことが原因と思われる。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年はGo Toトラベルキャンペーン事業があつて観光客が多かったが、今年は同事業は停止のままということもあつて、客数、売上はともに約15%程の減少であった。
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大は少し下火になったようだ。しかし第6波は心配である。ガソリンの値段が急に上がりお客様も車を使用することを控えざるを得ない状況であり、まだまだ景気の回復は遅くなりそうで先行きは不安だ。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束と緊急事態宣言の全面解除により来店数も上昇してきた。特にホテルの予約が昨年を上回ってきており、今後の経済回復に期待したい。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市の動物取扱業者が動物法違反で摘発されたが、改正動物愛護法が昨年6月から来年6月まで段階的に施行されている。管轄の保健所等は動物愛護の普及をはかり、更なる指導を全般にお願いしたい。一般の方々も動物愛護の意識を高めて欲しい。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の来店客の動向は新型コロナウイルス感染症の状況次第になりそうだ。